

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		位 勲・表彰事務		担当課	教育総務課	担当係	企画調整係	管理番号	6114
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市教育委員会表彰規程				
	小項目	3	行財政運営の推進						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		義務教育全期間を通じて無欠席であった市立中学校の生徒の努力を称えるために、教育委員会が表彰を行うものである。また、ほう章に関する事務手続を行うものである。							
目的 ※何のために		義務教育全期間を通じて無欠席であった市立中学校の生徒及び教育振興に功績のあった方を称えることにより、教育の一層の充実と振興を図るため。							
対象 ※誰・何を対象に		義務教育全期間を通じて無欠席であった市立中学校の生徒							
手段 ※どのように		市立中学校卒業式当日に九箇年皆勤表彰を実施し、表彰状を贈る。							
成果 ※何を求めるか		義務教育全期間を通じて無欠席であった市立中学校の生徒の努力を称える。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・ほう章に関すること(春秋叙勲(生存者叙勲)申請、勲記伝達)				・			
		・ほう章に関すること(死亡叙勲・叙位申請、勲記・位記伝達)				・			
		・ほう章に関すること(高齢者叙勲申請、勲記伝達)				・			
		・深谷市教育委員会表彰				・			
		・九箇年皆勤表彰				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		ほう章、表彰に関する調整	ほう章、表彰に関する調整	ほう章、表彰に関する調整	ほう章、表彰に関する調整	ほう章、表彰に関する調整	ほう章、表彰に関する調整
事業費	予算(現額)	86,400	88,000	88,000	56,540	0	0
	決算額	41,612	49,110	64,991	56,540	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	41,612	49,110	64,991	56,540	0
人件費	従事職員数(人)	0.26	0.26	0.40	0.33	0.33	0.34
	人件費相当試算※	2,022,540	2,023,320	3,144,400	2,684,880	2,561,432	2,764,658
	総事業費試算	2,064,152	2,072,430	3,209,391	2,741,420	2,561,432	2,764,658

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
成果指標 1	九箇年皆勤表彰者数		目標値	人	0	0	0	0	0	0
			実績値		58	67	88	86	90	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		皆勤達成者数が見込めないないため、目標値の設定はできない / 推薦書							
	実績値の算出式									
成果指標 2	叙勲叙位申請手続人数		目標値	人	0	0	0	0	0	0
			実績値		3	3	3	8	4	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		叙勲候補者等の人数が見込めないないため、目標値の設定はできない / 手続件数							
	実績値の算出式									
成果指標 3	位勲・表彰事務の誤り件数		目標値	件	0	0	0	0	0	0
			実績値		0	0	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		事務を誤りなく進める必要があるため / 事務誤り件数							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	九箇年皆勤表彰者数は90人で、前年度に比べ4人増加した。また、叙位叙勲を4件申請した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	九箇年皆勤表彰事務及び褒章事務を滞りなく執行できた。 九箇年皆勤表彰について、令和3年度から記念品の配付を取りやめることとした。
			評価者 企画調整係長 澤田 祥明

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	叙勲内申事務について、埼玉県との提出資料確認に係るやり取りをFAXで行っているが、メール等により代替が可能と思われる。
			評価者 企画調整係長 澤田 祥明

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	位 勲・表彰事務	担当課	教育総務課	担当係	企画調整係	管理番号	6114
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		九箇年皆勤表彰対象者に表彰状を交付し、褒章に関する事務を滞りなく執行することができた。褒章事務の効率化について、引き続き県とも調整していく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	教育部次長兼教育総務課長 松村 一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

